

くらしに役立つ新聞
しんぶん「赤旗」
日刊—3497円
日曜版—823円

新 宮 田

日本共産党
上伊那地区委員会
電話 72-2465
宮田村委員会

小林伸陽県議

新春キャラバン（二月二日）

宮田村 ニシザワ宮田食彩館前で

日本共産党上伊那地区委員会では、二日小林伸陽県議を先頭に、上伊那全域で新年のあいさつをしました。

宮田村では、ニシザワ食彩館前で小林伸陽県議と小田切敏明議員が訴えました。

小林伸陽県議は、昨年の総選挙で日本共産党は八議席から二一議席、比例で六〇六万票と躍進させていただきました。

今年も安倍政権のもとで社会保障の切り捨て、格差社会の拡大、

PP、憲法、集団的自衛権など国民の願いと世論に背を向けた政治を露骨に進めようとしている。

今年はいっせいで地方選挙の年、四月の県議会選挙で必ず勝利できるようにご支援をお願いします。

そして、住民要求の実現を進め、地方から日本の政治を変える流れをつくり出したいと街頭から訴えました。

買い物の皆さんや国道を走る車からは激励の手振りが相次ぎました。

宮田村の二〇一五年産米（今年）

生産数量目標一四三四トン

前年に比べ二一トンの減に

昨年末に県農業再生協議会上伊那那地方部（部長・青木一男 県上伊那地方事務所長）は、上伊那地区で

二八七トン減の二万八八六トンの生産数量目標配分を決めました。宮田村は二一トン減の一四三四

トンで、これは面積換算にして二・六ヘクタール減、各地区四反歩（水田約二枚位）が昨年の減反面積より更に増加することになります。

村、営農組合で対応が検討されます。

「米価、かつてない水準に下落」で

稲作農家の経営の安定を求める意見書

他、三つの意見書採択 〓 十二月村議会

宮田村議会十二月議会で「稲作農家の経営の安定を求める意見書」を全会一致可決、衆参院議長、内閣総理大臣他、関係大臣に送付しました。意見書は、「再生産価格の確保、収入減少の影響緩和対策の弾力的対応を行うことなどを強く求めています。」

と怒りの声が高くなっています。政府は地方再生を唱えるなら、この現状への早急な対応こそ求められます。その他「介護従事者の処遇改善を求める意見書」「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書」「地域振興・地域林業の確立に向けた山村振興法の延長と施策拡充を求める意見書」が可決されました。

2015年産市町村別（単位トン）	
	数量目標（増減）
宮田村	1434（減21トン）
伊那市	12340（減135トン）
駒ヶ根市	4779（ 0トン）
辰野町	1702（減14トン）
箕輪町	2340（減47トン）
飯島町	3108（ 0トン）
南箕輪村	1565（減29トン）
中川村	1418（減41トン）
合計	28686（減287トン）